

令和2年 5月 1日

(公財) 日本中学校体育連盟
剣道競技部 各ブロック長 様
各都道府県剣道競技委員長 (部長) 様
各中学校剣道部顧問 様

(公財) 日本中学校体育連盟
剣道競技部長 國原 宣昌
(公印省略)

令和2年度「重点指導事項」及び抽選方法について

新緑の候、貴職におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

日ごろ、本連盟剣道競技部の推進のために多大な御協力を賜り深く感謝申し上げます。さて、すでに令和元年10月1日付け、平31日中体第241-1号、241-2号にて、令和2年度「申し合わせ事項」「重点指導事項」等について送付しております。

つきましては、改めて下記の事項について、全国の各中学校剣道部において、適切な指導が実施できますようよろしくお願いいたします。

記

1 重点指導事項について

- (1) 「安易に左拳を中心線から外す防御姿勢をとらせない」いわゆる「公正を害する変形な構え」について、今後も継続して御指導ください。
- (2) 「鏝競り合いの解消途中」で時間空費が目的と思われる打ちを継続する場面が見受けられます。反則行為として御指導ください。
- (3) 危険かつ見苦しい暴力的行為は、厳に慎むよう御指導ください。

※ 上記については、厳しく反則を取りますので、くれぐれも事前に生徒への御指導をよろしくお願いいたします。

2 抽選方法について

平成27年度から、全国中学校剣道大会ではパソコンによる組み合わせ抽選を行っています。リーグ戦を勝ち上がった学校については、会場で当日抽選を行います。